

13時30分南街公民館202集合

参加者名簿次第(本日の流れ確認)当日の配布資料

講師 警視庁東大和警察署 交通課 矢野 勝寛様

役割

司会 (xx さん)

受付 (xx さん、xx さん)(配布資料)

カメラマン (xx さん) 終わりの挨拶(xx さん)

サポート (xx さん、xx さん)

参加者の詳細は以下になります。

性別 男性 2人 女性7人 合計9人

配布資料 「地域交流の場ぽつぽつ 交通事故削減方法を学ぼう編」(次第)

「第2層協議体「N・S・Cぽつぽつ隊」とは？」

「警視庁東大和警察署交通課より配布資料」

「地域交流の場ぽつぽつ 9月24日の案内チラシ」

「アンケート」

実際の状況を報告致します。

全体の様子



講師の警視庁東大和警察署交通課矢野様制服姿カッコイイですね。

聞きごたえがある感じがします。今回のテーマが「交通事故削減方法を学ぼう」です。

交通ルールを学ぶ機会は少ないですよ。自転車の交通ルールも厳しくなっています。

このままで良かれと思わないで、しっかりと学んでいこうと思います。

交通課矢野様の資料にて進めていきます。

東大和署管内の交通事故発生件数は、決して少なくないです。

都内警察署 102 所属のうち、東大和市は 11 位。

自転車、高齢者が当事者になる人身事故が多く割合を占めている。

令和7年7月
資料

1 交通事故発生状況

(1) 令和6年中の交通事故

- 東大和署管内の交通事故発生件数は、都内の警察署で11位（都内警察署102所属）。
- 都内の交通事故死者数は前年同期比プラス10人の増加。事故件数、負傷者数とも減少している。

\	交通事故(件)	死者数(人)	重傷者数(人)	軽傷者数(人)
東大和署	439(-71)	0(±0)	20(+5)	547(-70)
東京都	30,103(-1,282)	146(+10)	1,924(+199)	31,327(-1,818)

() は前年同期比

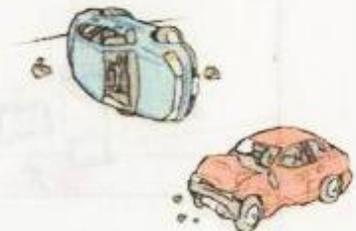
(2) 東大和署管内の交通事故の特徴（令和6年中）

- 交通人身事故489件。自転車、高齢者が当事者となる人身事故が多く割合を占めている。
- 自転車事故15位、高齢者事故13位、子ども事故10位。

\	自転車事故	高齢者事故	子ども事故
東大和署	230件(47.0%)	165件(33.7%)	33件(6.7%)
東京都	13,773件(45.8%)	9,821件(32.6%)	1,619件(5.4%)

2 令和6年中の交通事故発生件数上位

1位 町田署	850件	6位 西新井署	613件
2位 小松川署	772件	7位 調布署	589件
3位 立川署	699件	8位 東村山署	584件
4位 玉川署	631件	9位 八王子署	561件
5位 深川署	616件	10位 綾瀬署	559件



この数値を確認した瞬間、地域課題とも感じました。地域全体で交通ルールを学んでいく必要がありますね。

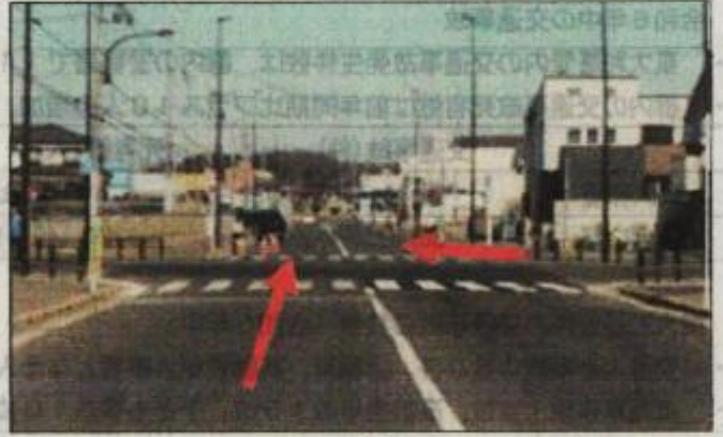
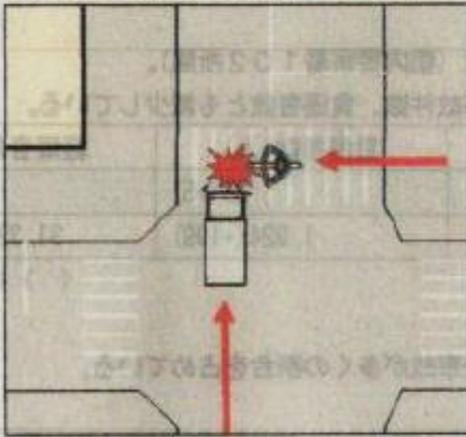
交通事故発生件数上位を確認すると、半分が多摩地区。交通事故を起こしてしまうと、普通の生活に戻るにも大変なことである。交差点での移動に間違った考え方、多くいるのが現状。道路に飛び出さない、道路では遊ばないこと。

月別交通死亡事故死者数の推移を見ると、12月が一番件数が多いことが分かります。年末年始の気の緩みが原因と思われます。交通事故には必ず原因があるものです。原因を学んでいく事も、交通事故削減に繋がります。では、事例を見て学んでいきましょう。



4 事件事例

(1) 2月下旬 午前11時18分 軽貨物車×自転車(75歳)女性
直進する車両と横断歩道を横断中の自転車との出会い頭の衝突



↑東大和市で実際に起きた事故になります。

左側に自分が勤務している工場があります。工場の方を気にしており、右側から移動している自転車に気付かず直進してしまいました。

見通しの良い道路でも相手に気付いてない場合もある。安全確認しても起こす事故もある。

- ・だらう運転×
- ・かもしれない運転○

「だらう運転」に対して「かもしれない運転」は常に高い安全意識を持ち、危険な状況になる事を予測して運転することをいいます。

「人が飛び出してくるかもしれない」「前の車が停まるかもしれない」

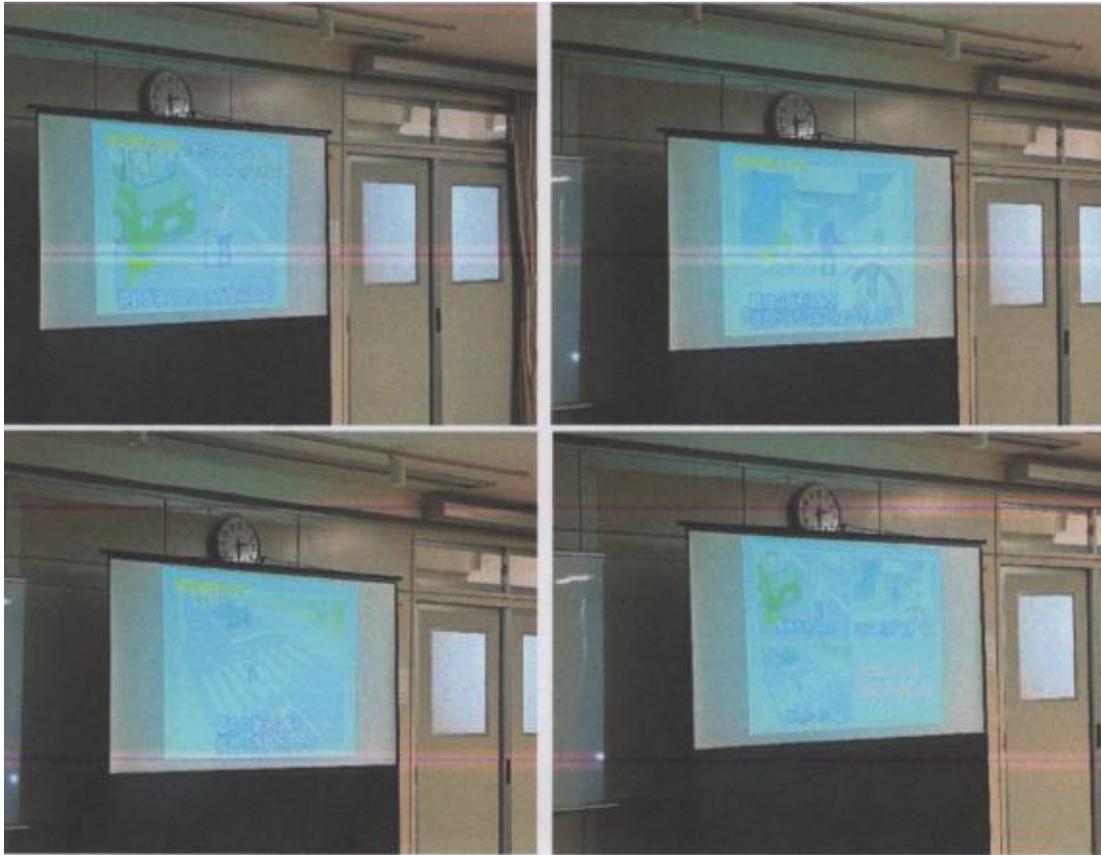
「右折したいが対向車は譲ってくれないかもしれない」

常に周囲の状況に気を配り危険を予知しながら運転する「かもしれない運転」は、事故を起こさないための最も重要な運転方法です。



今回も警察関係者が所持しているDVDでの学習していきます。

高齢者目線の内容でした。高齢者になると交通ルール含め身体機能の低下等も考える必要があります。



学校で交通ルールを学んだ小学生のお孫さんが先生となり、交通ルールの説明をしていました。内容分かりやすく楽しく学べました。

DVD鑑賞の後、矢野様より丁寧に説明がありました。



交通事故を未然に防ぐには、①相手の顔を見る事 ②相手の目を合わせる事 です。
 相手との目を合わせなければ、相手は自分の事を気付いていない。
 相手との目を合わせることが出来れば、お互いの存在に気付いており、事故の発生を未然に防ぐことが出来る。あとは「心の気持ち」になります。

つつい油断した行動× ちょっとした心の油断× 他者配慮の気持ちで○

質問も多く頂きました。交通ルールについて皆さん関心があるようです。



身近な所では、東大和病院近くにある『一部歩車分離式信号』について。

Q 歩車分離式信号とは何ですか？

A 車両の通行と歩行者の横断を完全または一部分離した信号です。

歩行者と車両の導線がなるべく交わらないようにしているので、交通事故を減少させる効果があります。

と、解説頂きました。勉強になりますね。



最後、xx氏より締め挨拶を頂きました。

4月から「防犯」をテーマに地域交流の場を開催してきました。

今回は交通ルールの学習。大切な命を守る為、交通意識が高まったと思います。迷ったら「道を譲る事」です。

道を譲ると、お互いの気分が良くなります。

道を譲り合って交通事故削減できる地域にしていきたいと思います。

次回の案内をさせて頂きました。

テーマは『消費者被害を防ぐために』になります。

日程は9月24日(水)14時～

場所は南街公民館 202

市役所消費生活センターの

相談員が講師になります。



アンケートの結果集計

◎次回の企画消費生活相談について聞きたい内容を教えて下さい。

怪しいサイト請求：0名　食品健康食品サプリメント：2名　ネット取引：0名
儲け話：1名　冠婚葬祭：0名　エステ美容：0名　旅行：0名　健康被害：2名
個人情報：0名　その他：0名

◎自由懇談の時間

満足：5名　普通：2名　やや不満：0名

◎今回の企画で感想や印象に残ったことがありましたらご記入下さい。

- ・高齢者を無視する若者が多い。
- ・スマホを歩きながら使用して人をよけることしない。
- ・交通ルールを守ることがいかに大事か分かった。
- ・目を合わせる。歩行者がいたら自転車を降りる。
- ・自転車使用中につき、充分気を付けて乗りたい。
- ・慣れと油断を注意します。
- ・歩道を自転車で走っている時に、すれ違い時止まっていませんでした。

◎「地域交流の場ぽつぽつ」のお手伝い(チラシ配布)が出来る方を募集しています。

ご協力いただける方、宜しければお名前・連絡先をご記入下さい。

結果。新たに2名の方にご協力頂ける事が出来ました。

開催日の変更にも関わらず、常連の方が参加してくれました。

今回の「交通事故削減」をテーマで実施。住民の方の関心度は高かったように感じます。

今年前半の企画終わりました。後半は「消費者被害を防ぐために」です。

後半も良いスタート出来るよう対応していきます。

今後も地域交流の場ぽつぽつでの交流会が盛んになることを目指していきます。